

三井住友海上火災保険株式会社
 あいおいニッセイ同和損害保険株式会社
 株式会社インターリスク総研

～転換期を迎える再生可能エネルギー事業の安定的な運営を支援～

太陽光発電・バイオマス発電事業者向け新サービス等の開始

MS&ADインシュアランスグループの三井住友海上火災保険株式会社（社長：原典之）とあいおいニッセイ同和損害保険株式会社（社長：金杉恭三）は、株式会社インターリスク総研（社長：村戸真）と共同で、「太陽光発電」および「バイオマス発電」の各事業者向けに、新たな「リスク診断サービス」および「リスクハンドブック」を開発し、7月より提供を開始します。

再生可能エネルギーは、FIT（固定価格買取制度）により急速に普及した一方、太陽光発電への偏重や大量の未稼働案件等の課題も顕在化してきたことから、新認定制度の創設を柱とする改正FIT法が本年4月に施行される等、大きな転換期を迎えています。そこで今回、再生可能エネルギー関連事業上のリスクマネジメントに役立つサービスを開発しました。

MS&ADインシュアランスグループでは、今後もグループ各社のノウハウを結集し、お客さまニーズに応える商品・サービスの開発を積極的に進め、再生可能エネルギーの普及に貢献していきます。

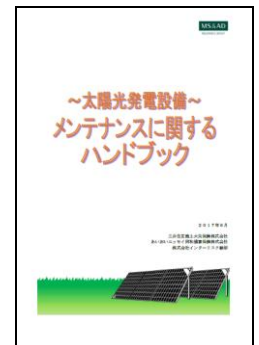
1. 太陽光発電向けメニューの特長

(1) 太陽光発電設備メンテナンスリスク診断サービス **新規**

- ・施設の立地や設備設計、メンテナンス体制等のヒアリング結果に基づきメンテナンス不備によるリスクについて診断し、診断結果および推奨する対策を診断レポートとして無償で提供します。
- ・また、診断の結果、お客さまのご要望に基づき有力専門事業者による常時遠隔監視サービス、緊急時駆けつけサービス等を無料で紹介します。（各種サービスは有償）

(2) 太陽光発電設備・メンテナンスに関するハンドブック **新規**

- ・既に太陽光発電事業を実施されている事業者向けに、発電効率維持・事故防止等のための適切なメンテナンスのポイント、メンテナンス不備により発生するリスクやその軽減策といった重要なポイントについて、わかりやすく解説しています。



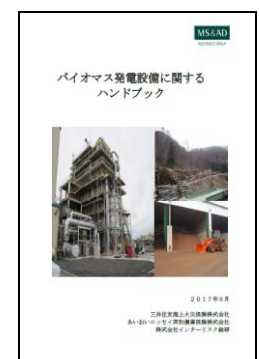
2. バイオマス発電向けメニューの特長

(1) 木質バイオマス発電事業リスク診断サービス **新規**

- ・各種事業リスクについて、施設の立地や設備条件等に関する資料に基づき一般的な診断を行う「簡易リスク診断」（無償）と、現地調査やヒアリングを通じて具体的な診断を行う「リスク診断」（有償）の2種類を提供します。
- ・「リスク診断」には、有力専門事業者との連携による「燃料木質チップ診断」や「事業経済性評価」などのオプションサービス（有償）もご用意しています。

(2) バイオマス発電設備に関するハンドブック **改定**

- ・バイオマスエネルギーの概要や発電の仕組み、発電事業の課題や事故リスクの分析等について解説した「バイオマス発電設備に関するハンドブック」（2016年7月発行）について、火災・爆発、電氣的事故・機械的の事故、事業中断による利益損失等の各リスクのポイント・対策を追加し、一層充実した内容にバージョンアップしました。



3. 開発の背景

太陽光発電事業においては、2012年のFIT開始以降、設備の老朽化が進み、事故・故障防止や発電効率維持のためメンテナンスの重要性が高まっています。加えて、改正FIT法における新認定制度では、適切な保守点検・維持管理の体制整備およびその実施が義務付けられました。

また、バイオマス発電事業は、FIT制度開始以降の導入容量が太陽光発電に次ぐ規模に成長していますが、安定的な発電のために一定品質以上の燃料を長期安定的に調達する、という課題があります。そこで、太陽光発電・バイオマス発電事業者の課題解決の一助として、新サービス等を開発し、提供することとしました。

以上